

会 議 録

会 議 名	令和3年度第1回東浦町子ども読書活動推進会議	
開 催 日 時	令和3年6月23日(水) 午後3時から午後4時20分まで	
開 催 場 所	東浦町中央図書館2階 大会議室	
出 席 者	委員等	杉浦義徳氏(委員長)、奥田英子氏(副委員長)、鈴木裕美氏、西村真理子氏、木水由美氏、内藤瑠璃氏、柏木由里子氏
	事務局	恒川教育長、石川教育部長、佐東図書館長、竹内図書館係長、長谷川主事、磯部図書館指導員
議 題 (公開又は非公開の別)	1 令和3年度「東浦町子ども読書活動推進計画(第三次)」に係る計画書について(公開) 2 令和3年度「東浦町子ども読書活動推進計画(第三次)」に係る方針について(公開) 3 その他(公開)	
傍聴者の数	0名	
審 議 内 容	<p>◆図書館長 会議の成立及び欠席者の報告を行う。 委員の任期について説明。</p> <p>◆教育長 (挨拶)</p> <p>◆図書館長 委員へ自己紹介を求める <委員及び事務局職員が自己紹介を行う。> 令和3・4年度東浦町子ども読書活動推進会議の委員長及び副委員長の選出を行う。</p> <p>事務局側の推薦により杉浦氏に委員長を依頼する。 副委員長は、杉浦氏の推薦により奥田英子氏を依頼する。 <委員長に杉浦氏、副委員長に奥田氏として異議なし> 委員長に杉浦氏、副委員長に奥田氏とすることを報告。</p> <p>◇委員長 (挨拶)</p> <p>◆図書館長 委員長に議事の取り回しを依頼する。</p> <p>以降は委員長が議事を取り回す。</p>	

	<p>◇委員長 次第に従い議事を進める。議題1 「令和3年度東浦町子ども読書活動推進計画（第三次）に係る計画書について」を議題として、事務局からの説明を求める。</p> <p>◆事務局 資料に基づき、各関連機関からの実績報告内容について説明する。保育園・児童館・子育て支援センター、健康課、生涯学習課、図書館、小中学校の順番に報告を行う。保育園・児童館・子育て支援センターの説明については、西村委員及び木水委員へ報告を求める。</p> <p>◇委員 各保育園、児童館、子育て支援センターの実績報告を行う。</p> <p>◆事務局 生涯学習課、健康課、図書館、小中学校の実績報告を行う。</p> <p>◇委員長 事務局及び関連機関の報告を受けて、委員の質疑を募る。</p> <p>◇委員 ・要望になるが、保育園と児童館で共有して欲しいことがある。 ボランティア活動で子どもへ読み聞かせをした際、読み聞かせを聞いていた子どもから「ボランティアの人に本を読んでもらうよりも、お父さんやお母さんに本を読んでもらったほうが嬉しい。」という声があった。 ボランティアメンバーが読み聞かせを子どもへ行った際の事例である。 子どもは、親に読み聞かせをしてもらったほうが、より満足感、安心感を得られるようである。 例えば、親子で一緒に読む本を選ぶなど、親子で読書に親しむ機会があるとよい。 ぜひ、保育園や児童館を通じて保護者へ親子での読書活動の推奨を行っていただきたい。</p> <p>◇委員 ・家での親子読書の推奨について保育園や児童館で共有したい。</p>
	<p>◇委員長 ・文化センターの取り組みで、1歳から未就園児への読み聞かせをするという記載があるが、どのような内容になるのか。</p> <p>◆事務局 ・文化センターの取り組みになるため、この場で実際にどのような形で</p>

実施しているか詳細な内容を把握しきれていないが、文化センターでは、住民向けに様々な講座を実施している。
その際に、託児付き講座も実施しているため、託児コーナーを設けて子どもへ読み聞かせを行う内容になると思われる。
どのような内容で実施しているか、改めて文化センターへ確認を行う。

◇委員長

- ・託児コーナーで行われる読み聞かせであるということを承知した。
親から子への個別の読み聞かせではなく、一人の読み手に対して複数
の子どもへ向けた読み聞かせを行うということによろしいか。

◆事務局

- ・託児ボランティアが子どもへ読み聞かせを行う形で実施されていると
思われる。
文化センターで行われる講座に保護者は集中して受講していただくた
めに、主催者側として託児ボランティアの派遣をお願いしている。
子どもが託児に預けられている時間に、託児ボランティアが子どもへ
読み聞かせを行っている。

◇委員

- ・ボランティアで生後4か月の子どもへ読み聞かせをすることがある
が、幼い子どもでも、絵本を読み聞かせをすると喜んでいる。

◇委員長

- ・赤ちゃんであっても、読み聞かせによって喜びを得られるということが
わかる事例である。

◇委員長

- ・図書館の取り組み「ぬいぐるみおとまり会」について、参加者の年齢、
定員、反応を知りたい。

◆事務局

- ・今年度の5月に実施した際は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
定員を通常の半分の10名で実施した。
今年度の参加者の年齢は、2歳から10歳程度であり、幅広い年齢の子
どもたちが参加している。
こちらのイベントの参加者へは、ぬいぐるみが図書館を探検している
様子を収めたフォトアルバムと、参加者の好きなこと、興味のあるこ
とにつながる内容のおすすめ本をお渡ししている。
参加者の保護者へ事前に子どもの好きなことや興味のあることについ
てアンケートした情報を基に、図書館職員が本を選書している。
子どもたちには、喜んでいただいている印象がある。
参加後の保護者アンケートでも、「貸し出しされた本について、子ども
は、自分のぬいぐるみが選んでくれた本であると信じていて、夢があ
るイベントである。」とのお声をいただいている。

◇委員

- ・今年の5月に実施された自分の3歳と5歳の子どもも、ぬいぐるみおとまり会に参加した。子どもはとても喜んでいて、参加後から1か月程度経過したが、継続して図書館を利用している。

◇委員

- ・図書館の外国語児童図書の収集とあり、定期的に新しい外国語図書が収集されたか確認したが、あまり新しい外国語図書が増えていない印象がある。日本語を読むように英語の本を読むと、英語の力がつくと考えている。大府市の図書館は、英語多読の本の利用も多いようだ。東浦町の図書館にもやさしいレベルの英語多読の本があるとよい。

◆事務局

- ・7月にオープンする当館の新コーナーには、常設展示コーナーが設置されるが、その資料の種類として、英語多読のシリーズ本が含まれている。レベル1からレベル7まで新たに収書した。英語絵本も含まれるため、今後も図書館の資料としての充実を図りたい。

◇委員長

議題1に関する質疑応答を締め切り、議題2「令和3年度東浦町子ども読書活動推進計画（第三次）に係る方針について」を議題として、事務局からの説明を求める。

◆事務局

資料2に基づき、令和2年度に小学校3、4年生へ実施したアンケート結果について報告。令和3年度の図書館の実施方針について報告。

◇委員長

事務局の説明を受けて、委員の質疑、意見を募る。

◇委員

- ・昨年度の小学校3年生は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館見学が実施されなかったため、図書館の見学と読書通帳をもらう機会がなかった。

◇委員

・昨年と一昨年に、小学校3年生を担当していた。一昨年度は、図書館見学を実施したが、見学前に図書館に一度も行ったことがないと答えた児童が多かったことに驚いた。
見学をした後は、また図書館に行きたいという児童が増えた。図書館見学を通じて読書通帳をもらったことを喜んでいた。
去年は新型コロナウイルスによって実施ができなかったが、今までも図書館への移動が困難であるという理由で見学が難しい学校もある。
図書館から離れた場所にある小学校は、子どもの徒歩による移動が図書

館見学実施の課題となる。

暑さや疲労などの問題があるため、図書館へ来館するための交通手段が徒歩以外にあるとよい。

◆事務局

- ・町内小学校図書館見学においては、読書通帳を配付するようにしたい。
例えば、暑い時期の実施を避け、時期をずらして図書館見学をする方法も考えられる。
また、町の貸出バスを利用して図書館見学をする学校もあるため、そのような制度を利用する方法もある。

◇委員

- ・学校の事情によって図書館見学の実施の有無が左右されるが、ぜひ図書館見学が実施できるよう学校側としても検討したい。

◆事務局

- ・図書館見学は、図書館の機能を知り、学校によっては資料の貸し出しを体験する機会となるため、子どもが図書館に親しみを持つきっかけとなっている。ぜひ町内の小学校で図書館見学を実施していただきたい。

◆教育長

- ・町の貸出バスの利用制度もあり、以前よりは利用しやすくなっている。
図書館見学は子どもたちが図書館を知る機会となり重要である。教育委員会としても改善できるようにしていきたい。

◇委員

- ・保護者への啓発活動の中で、読み聞かせの推進について記載されているが、読み聞かせにおける、保護者の意識を変えるということは最も課題になると考える。

◆教育長

- ・読み聞かせは、幼い子どもへ向けたものだと思われがちであるが、中学生へ向けた読み聞かせも効果がある。読み聞かせの良さをより多くの人に知っていただくことが、大人たちの意識をかえるきっかけになる。

◇委員

- ・ボランティアとして小学校5、6年生のクラスで読み聞かせをしたことがあるが、多くの児童が喜んでくれた。

◇委員長

- ・読み聞かせの価値を親が認識することが、将来的に読み聞かせを広げることにつながることを考えると考えられる。

◇委員

- ・保育士の絵本の読み方によって、子どもたちは物語に引き込まれる。保育園で読み聞かせを聞いた子どもは、楽しかった読み聞かせを再度読みたくなるようである。子どもが、保護者へ同じ本を探したり、買ってもらったりするよう頼むことがある。保育士や支援員の読み聞かせ活動も、子どもの読書活動の推進につながっている。保育士として、少しでも読み聞かせの良さを広げられるとよい。児童館長同士で共有したい。

議題2に関する質疑応答を締め切り、議題3「その他」について議題として、事務局からの説明を求める。

◆事務局

議題3は特になしを報告。

◇委員長

その他の案件がないことを確認し、議事の終了を宣告。

◆事務局

事務連絡として、次回の会議は3月上旬に予定していることを案内。挨拶をして会議の終了を宣言する。